

新たなファンが欲しいのです。

F「4月といえば、進学、進級！ 中学校に入学する人＝ヤングアダルトデビューする人も多いでしょう、ということで、真正直にヤングアダルト特集です」

M「ヤングアダルトの定義もあいまいだけれども。中高生の年代の皆さんがメインターゲットってところでしょうか」

F「三田市立図書館ではヤングアダルト向けの本の背に緑色のラベルがはってあります」

T「どうして緑なんですか？」

M&F「……」

M「緑といえばね、この間出かけるとき、着た服に上下とも緑が入っていて、手に取ったかばんも緑ってことがあったわ」

T「(スルーされた!?) ……お好きなんですね、緑」



F「そのひざかけも緑が入ってますね」

M「これはね！ 私がお慕いするF様のライブに行ったときに買った宝物♡ ほらほら、素敵なお色も入ってるんだから～」

F「…へえ」 T「……そうなんですね」 M「こらなんだその間は」

F「(スルー)ところで、Tさんは学生のおきにはやっていたものって何かありますか？」

T「えっと、〇っぺちゃんっていうキャラクターが……」

M「え、知らない知らない。ちょっとFさん、検索して検索」

F「グーグル先生に聞いてみましょう。これは……ス〇イム？」

T「〇っぺちゃんです！」

M「キャラクターって世代が出るわね……私の時はサ〇リオのハ〇ギョ〇ンがいたわ」

F「Tさん、知ってますか？」

T「いえ、……でもメモしました」

M「いやいやいや、そんなことまでメモしてたら、いくらページ数あっても足りないでしょ！ ってもうスペースない！」

F「続きは、インスタグラムで！」

M「絶対嘘でしょ！ 言いたいでしょ！」

T「フォローしてください！」

M「ここにきてタイトル回収!? 前フリ長すぎでしょ」

F「背に腹は代えられぬのです」



←QR コードでも
アクセスできます

Instagram公開中 ここにアクセスしてね★ ✦ ✦
<https://www.instagram.com/hondarake55>

ホンダラケ

2022.4.1

おいでませ YA!

F「子どもではない、でも大人でもない。そんなあなたのための本があるはず！ ……きっと。多分。おそらく。」

M「いや、そこは言い切りなさいよ」 T「……あります！」

『かえたい二人』 令丈ヒロ子／著 PHP 研究所 2017 年刊



かえたい二人

F/レイ

中高生で、自分の見た目をかえたい!と切実に思っている人は少なくないのでは。

この作品の主人公・穂木は「ふつうにおしゃれな子」になりたくて、同じクラスの陽菜は「個性的でありたい」。もやもやした気持ちをもてあましながらも、最後に穂木があげた声には勇気がわいてきます。

『若おかみは小学生!』シリーズでなじみぶかい著者のヤングアダルト作品。ヤングアダルトデビューにぜひどうぞ。

ホンダラケとは

本誌は、読者の身も心も「本だらけ」にしてやろうという心意気から生まれた中高生向け小冊子です。本誌に登場する本は全て三田市立図書館本館のYA (ヤングアダルト) コーナーでご覧いただけます。

2か月に1度、年6回発行予定です。

ホンダラケは皆様の投稿をお待ちしております。YAコーナーに用紙・ポストがございますので、おすすめ本や本誌の感想・要望などお寄せ下さい。

青春読書記

～三田学園図書委員会より愛をこめて～

テーマは「図書委員おすすめの本」

YA 世代ド真ん中の学生たちがおすすめする本が並びます。
これはいつにもまして、見逃さないですね・・・!

『薬屋のひとりごと』 日向夏／著 主婦の友社 2014年刊

花街で薬師として働く少女、猫猫はある日誘拐され、後宮の下女として働くことになる。平穏に生活するはずが、皇子の病気の謎を解いた事から、宦官である壬氏に目を付けられてしまい、後宮で起こる様々な事件解決の手伝いをさせられる。謎解きはもちろん、猫猫と壬氏、二人の関係性の変化も注目です。ぜひ一度読んでみて下さい。



F/ヒュ

P.N. 翠 (高校2年生)

新着図書 Pick Up

『階段ランナー』

吉野万理子／著 2022年刊 徳間書店

母親に事情を抱える広夢、将来を期待される卓球選手でありながらスランプに悩む瑠衣。高校2年の二人は「階段おじさん」ことタクワン先生の階段マニアブログを通じて距離を近づけていく。そしてついに「大階段駆け上がり大会」(実在します)にエントリーすることになるのだが…。それぞれの抱える悩みが意外に重いのですが、階段を駆け上るようにクリアしていく様がなんとも爽やかです。階段って上る度に何かを越えられる気がしますね。転ばないように駆け上がって!



F/ヨシ

「こんな本、棚から見つけました」のコーナー

このコーナーでは、スタッフが棚を見て“再発見”をした本を紹介します

『生き抜くためのメディア読解』 小林真大／著 笠間書院 2021年刊

だれもが一度は経験したことがある(はずの)「なにこれ、分かりにくい!」と感じたマニュアルだって、メディアの一種。

他にも、ニュース記事や雑誌の表紙、ブログ記事、難しく感じる法律文まで。メディアを読み解くステップを知れば、分析できちゃいます。たくさんの「メディア」である現代社会を、サバイバルする術を知るスタートにピッタリな本です。あなたの今にも、これからにも、きっと役立つはず! メディアに触れるのが、今より楽しくなっちゃうかも?



361.4/21

難しいと思われているけれど、実は面白い名作があるから読んでみてほしいんです。

『ベルリン 1919 上・下』 クラウス・コルドン／作
『ベルリン 1933 上・下』 酒奇進一／訳
『ベルリン 1945 上・下』 2020年刊 岩波書店

物語の始まりは1918年の冬。ベルリンの下町に住むゲープハルト一家の長男13歳のヘレを主人公に革命に揺れるドイツが描かれます。そして1933年・1945年とドイツにとって変革の時代をゲープハルト家の少年・少女たちの目を通して描かれる「ベルリン3部作」。年齢的に時代には流されてしまっていますが、自分がどう生きるか国内外の戦争に翻弄されながら考えねばなりません。もし自分なら?ぜひ考えながら読んでみてください。



943/コル